

WEEKLY REPORT

<2019-2020年度 RI会長テーマ>



ロータリーは世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たホール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ホール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ホリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に従え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

2019-20年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

社会奉仕基金2,759円

《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2243回 例会 2019年3月13日(水)

- | | | | |
|------------------|---------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長 | バリー・ラシン | ■例会日 | 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 橋岡久太郎 | ■例会場 | 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13G アシスタントガバナー | 野村 充 | ■事務所 | 松戸市八ヶ崎1-11-13 カナリスハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 高橋 一彦 | ■TEL/FAX | 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 小澤 直之 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

＜第2243回 例会プログラム＞

司会 柳 孝実



- | | | |
|-------|------------------------|---|
| 12:30 | 点鐘
ロータリーソング斉唱 | 高橋一彦 会長 |
| 12:35 | 会食 | |
| 13:00 | 会長挨拶・
幹事報告 | 高橋一彦 会長
小澤直之 幹事 |
| 13:05 | グループディスカッション(奉仕事業について) | |
| 13:25 | 社会奉仕基金発表
ニコニコ発表 | 社会奉仕委員会
ニコニコ委員会
大塚精一 委員長
沖 昌彦 委員 |
| 13:30 | 点鐘 | 高橋一彦 会長 |

＜クラブ会長挨拶:高橋一彦会長＞

3月この時期に忘れてはならないのが3.11、東日本大震災です。岩手、宮城、福島を中心に多くの犠牲者を出した東日本大震災から8年が経過しました。

警察庁のまとめによれば現在で死者は1万5897人、今もなお行方不明者は2533人に上るそうです。そして被災地では現在も復旧復興に向けた取り組みが進んでいるとありました。

また一方で、国内では地震や豪雨により新たな災害被災地が生まれているのも皆様もご存じと思います。東日本大震災の経験を活かし、あるメディアでは震災より何を学び、どう伝えていけば「備え」として生きるだろうと、教訓伝承と防災意識啓発を全国に展開してゆく事業を行っているそうです。

これは1つの事例として本日お話をさせて頂いておりますが各被災地への支援・奉仕に力を注がれている方々は大変に多いと感じます。ロータリーとしても地区での活動や、各クラブ単独としての活動が広報誌などを通じ伺い知ることでもあります。

我がクラブでも奉仕事業の安定と拡大を視野に入れ行動していく事が必要と思いますが、先ず忘れてならないのはロータリー理念でもある「4つのテスト」に適する事が大切です。尚、活動計画書にも記載はされておりますが奉仕活動の選択において関連してくるであろう奉仕部門の再確認として記載しておきます。

奉仕の第三部門である【社会奉仕】は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

(次ページへ続く)



WEEKLY REPORT

奉仕の第四部門である【国際奉仕】は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

奉仕の第五部門である【青少年奉仕】は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

本日も会員皆様より奉仕事業への考えや提案を頂く時間を設けさせて頂きましたので、是非、日頃のご経験や情報から良いアイデアをご提示して頂ける様ご協力をお願い申し上げます。

＜幹事報告:小澤直之幹事＞

■当クラブ花見例会開催のご案内

平成31年3月27日(水) 15:00 本土寺の仁王門に集合
入場前に¥1,000-/1人を願います。

15:30~16:30 資料館見学(ガイド付き)

17:30~ トラットリヤ朝日屋

※参加者集合次第に例会・食事会を開催します。



＜テーブルディスカッション テーマ:奉仕事業について＞



＜本日のニコニコ発表:沖昌彦委員＞

😊 平田洋一会員 結婚祝いの花束ありがとうございます。先週中国の上海から南京に行ってきたハードの部分の進化に驚かされました。現金・カードが一切使えず〇〇PAYが基本でした。ソフト面はまだまだなと感じました。

■3月 水と衛生月間(Water and Sanitation Month) ■

2014年10月RI理事会は、3月を重点分野:「水と衛生月間」とした。地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

